

慶念寺々報

つなぐがかり

慶念寺の掲示板 第三十六回

お父さんは
お父さんの
知ってる事なら
何でも
知ってるよ

「お父さんはお父さんの
知ってることなら何でも知ってるよ」
子どもから質問攻めにされると、だんだん
答えるのが億劫になり、いい加減なことを言
ったり、知ったかぶりをしたくなることがあ
ります。しかし、それでは子どもの為にも、
自分の為にもよくありません。
なので、本当にわからないことを聞かれた
ときは、上の言葉を言った後に「だけど、お
父さんの知らないことは何にも知らないん
だ」と答えるようにします。そして、一緒に
調べてみたり考えてみたりするのです。知ら
ないことを「知らない」と言えること
は、とても重要なことです。



知らないことは恥ずかしいこ
とではありません。しかし、大
人になると何とか取り繕いたく
なる気持ちが頭をもたげます。
そして、本で読んだことなど
を、さも知っているかのよ



うにふるまってしまう自分がいるのです。
わかっている(?)でいるうちは特に問題
はありません。ただ、わかっている「つも
り」だったことに気づくのは、いつでも何か
しらの問題に行き当たった時です。

「つもり」でいるうちは、答えは出せませ
ん。普段の生活の上での事ならば、改めて調
べなおすこともできるでしょう。しかし、自
分ではどうしようもない問題に直面した時
にはそうもいかないのです。

これから直面する問題として、「老いてい
くこと」「病になること」そして「命を終え
ていくこと」が間違いなくあります。それ
は、自分自身だけではなく大切な誰かもし
れません。そういった状態に陥ったとき、自
分の心をどう収めていくのか。その答えを持
ち合わせている人は多くありません。

仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程

を決めてからご連絡を頂くと、対応しかなる場合がございます

います。日程調整の上、予定を決めていきましょう。そ

の際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねく

ださい。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。また

日程や会場・葬儀社がお決まりでも、お寺への連絡は直

接お願いいたします。



だからこそ、それを説いている宗教に自ら
の「いのち」という本質的な問題を問うてい
くことが大切なのではないでしょうか。私は
私の知っていることしか知らない。当然の言
葉のようですが、わかった「つもり」になっ
ている自分に目を向けてみると、意外と知ら
ないことのほうが多いのです。
信頼できるお医者さんに出会い、委ねれば
安心して老いや病と向き合えるように、安心
できる宗教に出遇えた時、「いのち」の
問題に向き合える。

問題に直面した時、自分ですべて理解して
解決しようとすることはありません。委ねる
こと、わからない自分を受け入れることも大
切。そこから始まる安心もあるのです。

築地本願寺奉告参拝 に行ってきました



七月に築地本願寺へ法
人取得・寺院設立の奉告
参拝に行ってきました。
まずは本堂にて奉告参
拝。その後はお楽しみの
築地本願寺ツアーです。
閉門後、ほかに参拝者
のいない築地本願寺の本
堂を貸し切り状態で参
拝。貸し切りな
ので普段一般立

ち入り禁止である内外陣や余間(ど
ちらも僧侶が出仕をする場所)に入
って見学をすることができました。
私も僧侶として出仕をすることはあ



るのですが、法要中はキョロキョロするわけにもいきませんので、じっくり堂内を見学させていただきます。滅多にできない見学に、参加の皆様もとても喜んでいらつしやいました。そのあとはみんなで会食。築地本願寺の建物内で、美味しい食事と会話を楽しみました。今後も楽しい会を企画しますので、ご都合つきましたら是非ご参加ください。



秋季彼岸会を行います

九月の法話会は、十五日(日)秋季彼岸会を行います。お彼岸の時期には少し早いですが、ぜひ法要を参拝して、思いを新たに秋のお彼岸を迎えていただければと思います。



また、今回の法話会は住職ではなく隣の麻生区の妙延寺様のご住職である、山本清哲師をお招きしてお取次ぎを賜ります。山本先生は住職の同級生で幼馴染。学生のころから切磋琢磨してきた方で、先日の住職補任式も同日程で受式をしてきました。子ども会なども熱心に取り組んでいる方

次回の法話会は

九月十五日(日) 十四時から 慶念寺本堂

にて「秋季彼岸会」を行います。過去帖・お位牌をご持参ください。皆様のお参り、心よりお待ちしております。

発送作業のお手伝いをお願い

で、様々な見識をお持ちの先生です。是非お参りしてお聴聞ください。来月も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

日時：令和六年九月二十一日(土)

十四時から

場所：慶念寺本堂

内容：寺報等の封筒詰め作業

終了後、ご希望の方は駅までお送りします。みんなのでワイワイとおしゃべりしながらやっている発送作業です。寺報を折って封筒に詰めるだけ。時々子供たち参戦してみんな楽しく作業をしています。お時間ありましたら是非お越しくださいませ。



帰敬式のおすすめ(法名)

帰敬式というのは、浄土真宗の教えをよりどころに生きる自覚を新たにし、生前に法名をいただく大切な儀式です。本来浄土真宗では生きている「今」に帰敬式を受式し法名をいただくのが本来のあり方です。ご希望の方は慶念寺にお尋ねください。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

編集後記

この編集後記を書いている今、外は滝のような雨。台風が接近しております。夏休み中の子どもたちは退屈モード全開。なので、妻に内緒でこっそりポケモンカードを買い与えてしまいました。実は、これには理由が。私が子どもの時に発売されたポケモンカード。正直なところ「私もやりたい」のです。お仕事の合間を縫って、子どもたちとポケモンカードができる未来を想像しています。



さて、本文にも書きましたが、築地本願寺に団体参拝に行ってきました。慶念寺でも年に数回はこのような楽しみができるようにと考えております。次は、十二月二十日の本山お煤払い参拝を予定しております。京都らしいところの観光もします！来月の寺報でご案内をしますので、是非ご予約くださいませ。

浄土真宗本願寺派 歓喜山 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com
ホームページ URL
https://kyounenji.com/



慶念寺ホームページ QR コード